



Embassy of Japan  
in the Kyrgyz Republic

## 無償資金協力「社会的弱者に対する食糧支援を通じた自立支援計画（WFP連携）」

2024年3月9日

3月9日、キルギス共和国労働・社会保障・移民省において、合田秀樹駐キルギス共和国日本国特命全権大使と、中井恒二郎国連世界食糧計画キルギス事務所常駐代表との間で、供与限度額5.19億円の対キルギス無償資金協力「社会的弱者に対する食料支援を通じた自立支援計画（WFP連携）」に関する書簡の署名・交換が行われました。同式典には合田大使の他、バーティロヴァ労働・社会保障・移民大臣も参加しました。

世界的な物価高騰を受け、キルギスにおいても食料品を始め多くの製品・サービスの価格が高騰し、国民生活は悪化し、キルギス経済は大きな打撃を受けました。世界的な危機は、所得の減少や物価の上昇により短期的に人口の最も脆弱な層の購買力を低下させるだけでなく、長期的に彼らのレジリエンスや危機に対応する能力を低下させます。結果的に、約33%の人口が貧困状態に陥り、7%が貧困ラインのボーダーライン上にいます。

本協力は、キルギス国内でも特に経済的に厳しい状況にあるキルギスの地方（バトケン州、イシククリ州、ジャララバード州、ナリン州、オシュ州）に住む脆弱層に対し、基礎インフラ整備に従事したり、職業訓練・起業研修・農業生産性向上のための研修に参加したりしたことへの対価として、輸入依存度の高い食料（小麦粉、野菜油等）を供給することで、脆弱層の食料安全保障の強化と持続的な経済的自立の促進を図り、もって同国の経済社会の安定に貢献することが期待されます。



